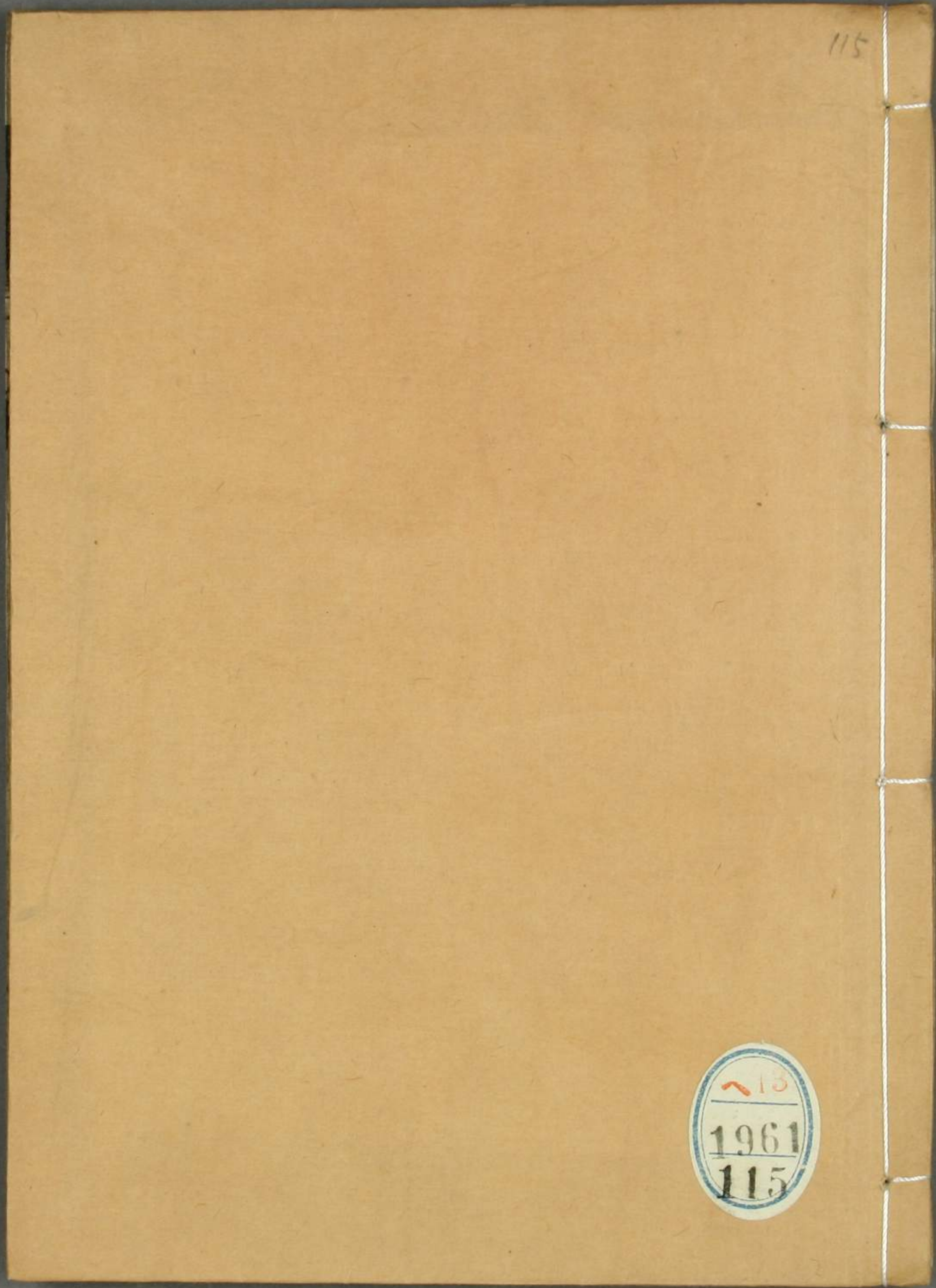


KODAK Gray Scale



115
1961
115





115 三册合

遠
961
102
103

13
1961
115



夫風の自在なるや形なくして聲と聲と力とて物哉
 初とて歐陽公の州舎と坊とて秋聲の文と書出漢
 武帝の龍舟を漕ぐに棹乃所と唄む石雄風の如娼
 わ彼は芙蓉風乃散花なり。劉子史駕奴折乾と祿と次
 孔明の李傭價をらんと風羅の芭蕉の別号の柄也く
 風来は福肉の婢号也。後漢の流乃後朝也。後漢の
 雲とかなは女護の島也。粧帽漢月とてれ。後漢の恨む其
 私我も春れ。子代乃とてめ。春とて序也。

寛政十己未孟春

曲亭馬琴述



風を以ててん
まはく風の神の
これともいふも
とひらきまひらき
ふれすある時
風の神あちの
まひかんとり
らうていへご
まふいかに
むてん
うのは
うの
うの
でん
を

風の神



あつちの風はつちの
うらたつちのうら
んてんてんてん

あつちの風はつちの
うらたつちのうら
んてんてんてん

あつちの風はつちの
うらたつちのうら
んてんてんてん

あつちの風はつちの
うらたつちのうら
んてんてんてん

風の神あちの
まひかんとり
らうていへご
まふいかに
むてん
うのは
うの
うの
でん
を



あつちの風はつちの
うらたつちのうら
んてんてんてん

あつちの風はつちの
うらたつちのうら
んてんてんてん

あつちの風はつちの
うらたつちのうら
んてんてんてん

あつちの風はつちの
うらたつちのうら
んてんてんてん

風の神

世の中み風やどいら
りのものもまじり風ほ
かそらふいのものも
万里とくさるるや舟
も風のしらふて
いちやのしらぬ百里
のうををうり
ふもつとひがたす
も風のためあ
ほやうらまわ
れらるるをわ
まはるるの中
まの南風あす
まんのものも
はるるの
の北風やわ
うらやうらの
花やまじり
のこをを
あま風の
身風月とら
こと中へ
およまれ侍



つらふのこと
つらふの
つらふの
つらふの
つらふの
つらふの
つらふの
つらふの
つらふの
つらふの

コノやち
つらふの
つらふの
つらふの

みづくられ
あがら
まじり
まじり
まじり
まじり
まじり
まじり



かみちり
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの

あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの
あまの

司れ不ど
 こまきり
 せめてい
 せんしれ
 てねえの
 せまのり
 らやまけ
 ぶふとと
 おんきと
 だして
 だして

とくつ
 せの
 中
 の
 風
 だ

風の林



司れ不ど
 こまきり
 せめてい
 せんしれ
 てねえの
 せまのり
 らやまけ
 ぶふとと
 おんきと
 だして
 だして

あつての風
 男のこ
 こまきり
 せめてい
 せんしれ
 てねえの
 せまのり
 らやまけ
 ぶふとと
 おんきと
 だして
 だして

風の林



司れ不ど
 こまきり
 せめてい
 せんしれ
 てねえの
 せまのり
 らやまけ
 ぶふとと
 おんきと
 だして
 だして

司れ不ど
 こまきり
 せめてい
 せんしれ
 てねえの
 せまのり
 らやまけ
 ぶふとと
 おんきと
 だして
 だして

司れ不ど
 こまきり
 せめてい
 せんしれ
 てねえの
 せまのり
 らやまけ
 ぶふとと
 おんきと
 だして
 だして

歌謡
東遊巴州大海
有子

ありてはふれ
とゆらうとの
あまのあまの
とせとありて

あまのあまの
とせとありて
あまのあまの
とせとありて



あまのあまの
とせとありて
あまのあまの
とせとありて

あまのあまの
とせとありて
あまのあまの
とせとありて



しの木



田舎の
 人々の
 生活の
 様子
 を
 描く

田舎の
 人々の
 生活の
 様子

あつち
 ちり
 ちり
 ちり



わらわりの
 生活の
 様子
 を
 描く

田舎の
 人々の
 生活の
 様子

田舎の
 人々の
 生活の
 様子

馬琴作

用 歸 風
 皮 見
 範 草

通油町
 蔦十版

己未春





大巾しるこ
たことまき
甲が
あまぐ
しいまろ
よきてえ
あまがた
あまのり
あま

あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた



かまのり
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた

あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた

あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた
あまがた

此の書は
後々世に
流るる
ものあり
あらば

はつ
解ふ
筆く
元

馬琴作



寛政己未歲且
武江節田
街市隱
曲亭主人題



山東窟主人京傳子著

忠臣水滸傳前編

全部五卷
出未發行

此書は太平記と主意と水滸傳の趣と唐土の
小説小あしひく假名事本忠臣蔵の十一段と十一回
かきとる忠臣孝子義男貞婦の作業と記し
棟史ありとらむも戲言といふをよみ
懲ふたりやま至極たりあまきよき物あり往々画と
くく国字と以て記し見せぬもよみ

繪本二十四孝 全部三冊

一 狂哥法語

唐末山人作
両面摺袋入

狂歌集の元末 全壹冊

板元為屋重三郎

